



第2名古屋三交ビル

名古屋市中村区名駅三丁目 19 -14

構造／鉄骨造 地下1階 地上14階建

延床面積／約 21,001.73 ㎡

竣工／2025年2月

内装木質化面積／800㎡

木材使用量／40㎡

主な使用樹種／スギ（三重県産）

施主／三交不動産

設計施工／竹中工務店

ベンチ設計・製作／アーティストリー

ウッドデザイン賞2024

第32回愛知まちなみ建築賞

iF DESIGN AWARD 2025

第28回木材活用コンクール 優秀賞

第23回照明デザイン賞 最優秀賞

木のぬくもりが包む都市の居場所 MUQUA（ムクア）

名古屋駅近くにて建て替えられた複合ビルでは、屋内外に公開空地を整備し、地域に開かれた憩いと賑わいの場を創出。

1階の屋内空間「MUQUA」には、三重県産の杉材がふんだんに使われ、高さ約10m・広さ約300㎡の大空間を、木の香りと柔らかな曲線が包み込み、都市の中に持続可能で魅力的な新たな居場所が生まれている。

空間の中央には、人々が待ち合わせ場所として自然と集いたくなるような、モニュメントとなるベンチを設置。壁面に設けた木製ルーバー間に滑らかな形状のベンチを組み込むことで、温もりと親しみやすさを感じさせる場を演出。木材の構成が空間全体にダイナミックさと軽やかさをもたらし、視覚的・心理的な豊かさを生み出している。

